



- ◎古代人の記憶伝える上野三碑
- ◎NHK前橋放送局長 若木香織氏スペシャルインタビュー
- ◎一おんな城主 直虎—  
お家断絶の危機を救う
- ◎一お客様紹介—  
マーガレットヒル 様
- ◎前橋歴史イベントの紹介

「前橋・春の風」  
須藤和之 画  
繻やマトから見える赤城山を背景にして、  
ヤマトピオトープ圖のハルジオンとてんとう虫で構成しています。

前橋藩主 松平大和守家 顕彰祭  
平成29年4月16日(日)  
午前9時30分～午後3時30分

宝蔵院流槍術 奉納演武  
山形県指定無形文化財保持者 刀匠 上林 恒平  
刀剣鍛錬実演 「式部正宗」打ち始め式

歴代藩主追善法要  
第1回 前橋四公教養講座 「松平大和守家」  
天下三名槍 御手杵の槍サミット

宝蔵院流槍術 奉納演武  
時間：13:30～13:50  
場所：東照宮(前橋市大手町3-13-19)  
出演：宝蔵院流高田派槍術  
免許皆伝 粕井 隆さん  
免許 西本 昌永さん

平成29年4月16日(日)開催  
松平直克公前橋御帰城150年記念  
前橋藩主 松平大和守家顕彰祭  
午前 9時30分～午後 3時30分  
会場：孝顕寺、群馬県教育会館、前橋東照宮  
歴代藩主追善法要 (関係者のみ)  
日時：平成29年4月16日(日)  
9:30～10:00  
場所：孝顕寺(027-224-5118)

前橋を治めた四藩主「前橋四公」の一角である、江戸時代末期の前橋藩主・松平大和守家の功績を称え、その歴史的価値をこれからのまちづくりに活用するため、松平家の主君であり、前橋東照宮の主祭神である徳川家康公の命日にあわせた行事が開催されます。

第1回前橋四公教養講座  
日時：平成29年4月16日(日)  
11:00～14:00  
場所：群馬県教育会館(前橋市大手町3-1-10)  
(定員300名)  
内容：「松平大和守家について」  
川越市立博物館  
主査 宮原 一郎  
申込：4月10日までに電話申込  
前橋市文化国際課(027-898-6992)

刀剣鍛錬実演 「式部正宗」打ち初め式  
時間：14:00～15:30  
場所：前橋公園(東照宮隣接)  
出演：横座 刀匠 上林 恒平さん  
先手 刀匠 高橋 恒厳さん

天下三名槍 御手杵の槍サミット  
時間：10:00～15:30  
場所：東照宮  
展示 松平直泰氏 奉納 御手杵の槍(複製)  
結城市所蔵 御手杵の槍(複製)  
刀匠 上林 恒平 作 御手杵の槍(復刻)

平成29年5月6日(土)開催

産泰神社太々神楽  
二之宮式三番叟・  
薪能まつり

産泰神社太々神楽  
時間：午前11時～12時(開場午前10時)  
場所：産泰神社(前橋市下大屋町569)  
演目：太々神楽(産泰神社太々神楽保存会)  
神楽の舞・巻絹(下平克宏、大槻崇充ほか)  
定員：100名(抽選)

【申込方法】※3月31日締切  
下記を記入のうえ、往復はがきにてお申し込みください。  
●申込者住所・氏名・電話番号  
●参加希望人数(最大5名まで)  
●市内への宿泊(前日・当日)の有無  
※市内へ宿泊される方は、抽選なしで優先席にご案内します。  
当日、宿泊を証明できるもの(領収書・予約券の写し等)をご用意ください。  
●参加希望区分  
A：太々神楽+二之宮式三番叟・薪能  
B：二之宮式三番叟・薪能のみ

二之宮式三番叟・薪能まつり

時間：午後3時30分～午後7時(開場午後1時)  
場所：二宮赤城神社(前橋市二之宮町886)  
※地元農産物や「赤城の恵」物産販売も実施  
演目：二之宮式三番叟(二之宮町無形文化財保存会)  
狂言「蝸牛」(高澤祐介、三宅右矩、三宅近成)  
能「賀茂」(下平克宏、大槻崇充ほか)  
定員：600名(抽選)  
※いずれも無料、少雨決行、市内宿泊者への優待制度あり



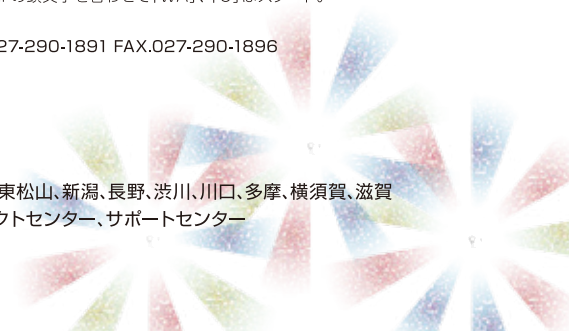
和's YAMATO 春号 (第32号) 2017

「和's YAMATO」の由来  
ヤマトの漢字の「和」、Water & Airの頭文字を合わせて「WA」、「S」はスタート。  
ヤマトが発信するメッセージです。

和's YAMATO 2017 春号／2017年3月発行 発行：株式会社ヤマト(広報室) 群馬県前橋市古市町118 TEL.027-290-1891 FAX.027-290-1896



群馬県前橋市古市町118 〒371-0844 TEL.027-290-1800(代) FAX.027-290-1896  
支店／東京、埼玉、栃木、横浜、千葉、高崎、東北 営業所／軽井沢、伊勢崎、神奈川県、茨城、太田、東松山、新潟、長野、渋川、川口、多摩、横須賀、滋賀  
附属施設／大和環境技術研究所、大和分析センター、加工センター、朝倉工場、教育センター、コンタクトセンター、サポートセンター  
ヤマトホームページ www.yamato-se.co.jp/



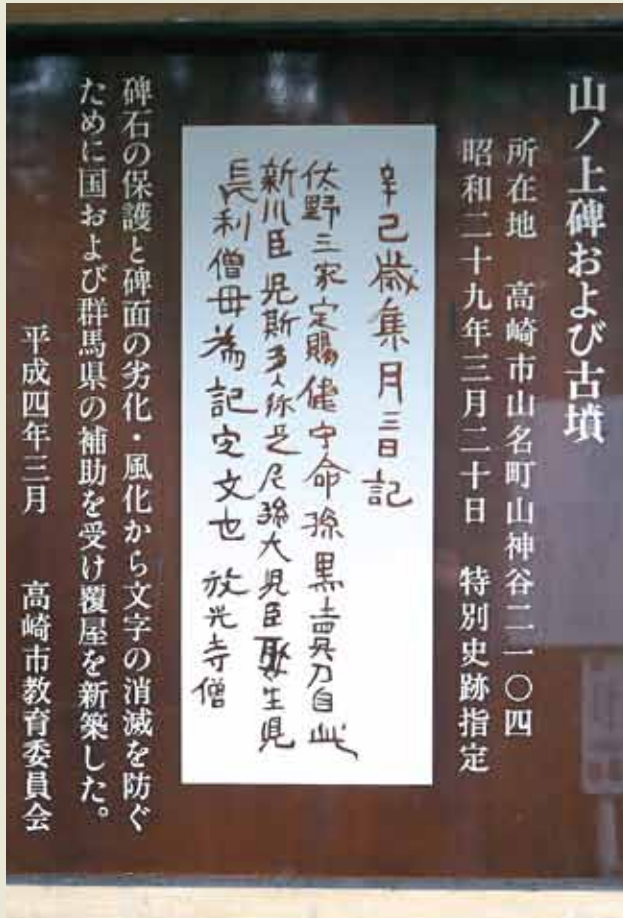




山上古墳



山上地蔵尊 山上碑近くにある地域の見守り地蔵



山上碑碑文



山上碑



山上碑が納められている建物と山上古墳

# 世界記憶遺産候補 古代人の記憶伝える 上野三碑



辛巳歳集月三日記

伏野三家定賜健守命孫黒壳刀自此  
新川臣見斯多々弥足尼孫大見臣娶生見  
長利僧母為記定文也 放光寺僧

## ヤマト王権の主要な地域 上野の国

上野三碑は、群馬県高崎市にある古代の石碑群で、約1300年前の7世紀頃に建てられました。山上碑は西暦681年、多胡碑は711年、金井沢碑は726年に完成しています。文字を石碑に刻んで公開する形態は、朝鮮半島から渡ってきた渡来人がもたらした慣習で、地元の人々によって石碑に文字が刻まれたといわれています。当時、朝鮮半島では中国を起源とする漢字文化の影響を受けた石碑文化が発達し、奈良や飛鳥の都にも伝来していました。上野三碑は、大陸から渡来した石碑文化が都から遠く離れた関東地方に伝わったことを示す貴重な文化財です。

### 世界記憶遺産とは

世界記憶遺産は、世界遺産、無形文化遺産と並ぶユネスコが登録する人類共有の貴重な文化遺産の一つです。人類の歴史にとってかけがえのない文書、音楽などを守り、後世に伝えていくことが登録の主旨で、「アンネの日記」や「ベートーベンの交響曲第九番の自筆譜面」などが登録になっています。日本では藤原道長の「御堂関白日記」など5件が登録されています。ユネスコの審査は二年に一回で、今回の選考では日本各地から十六件の応募があり、上野三碑が日本の世界記憶遺産候補となりました。

三つの碑はそれぞれが国の特別史跡

## 山上碑

YAMANOTE

碑文は漢字を日本語に合わせて並べ  
ており、日本語の完全な形で現存する最  
古の碑文です。漢文の語順は日本語読み  
と異なるので、日本語読みをするにはレ  
点が無いと読みづらいですが、山上碑の  
文は、文頭から語順のまま読むことで内  
容が把握できます。

碑文には※放光寺(前橋市総社町に  
あった寺で東国有数の大寺院の長利と  
いう僧が母(黒壳刀自)のために建てた  
ことが書かれています。長利の母・黒壳  
刀自はヤマト政権の健守命の子孫で、父  
は赤城山麓の豪族とみられる新川臣で  
した。長利は当時の有力者の子孫である  
とともに、大寺院の僧侶に出世したた  
め、母の黒壳刀自を供養するとともに、  
自らの存在を後世に伝えるために碑を  
建てたと考えられます。

山上碑の東隣にある山上古墳は、直径  
15mの円墳です。中心には南に開いた横  
穴式石室(奥行き7.4m)があり、地元産の  
凝灰岩の切石が組まれています。この石  
室は、飛鳥時代(7世紀)につくられたも  
ので、碑に近接することから黒壳刀自の  
墓所と推定されます。本古墳の完成は7  
世紀前半から中頃のもので、山上碑が建  
てられた時期(681年)から数十年経  
過している考えられます。このことか

ら、本来は黒壳刀自の親の墓であり、後  
に黒壳刀自が葬られたと考えられます。

### 読み方

辛巳歳集月「しんし(かのとみ)としじゅう  
がつ」三日に記す。佐野三家「さのみやけ」  
を定め賜える健守命「たけもりのみこと」の  
孫の黒壳刀自「くろとじ」に、此れ新川臣  
「にっかわのおみ」の兄の斯多々弥足尼「し  
たたみのすくね」の孫の大見臣「おおこの  
み」に娶「とつ」ぎて生める兄の長利僧「ちよ  
うりのほうし」が、母の為に記し定むる文  
也。放光寺「ほうこうじ」僧

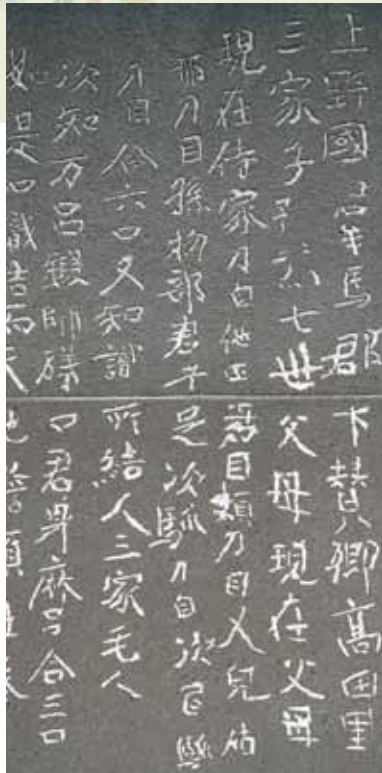
### \*用語の説明

- 刀自(とじ) 女性の尊称
- 足尼(すくね) 男性の尊称

### 現代語訳

辛巳年(天武天皇十年＝西暦六八一年)十月  
三日に記す  
佐野屯倉をお定めになった健守命の子孫の  
黒壳刀自。これが、新川臣の子の斯多々弥足尼  
の子孫である大見臣に嫁いで生まれた子であ  
る。(わたくし)長利僧が母(黒壳刀自)の為に  
記し定めた文である。放光寺の僧。





金井沢碑碑文

金井沢碑の碑文

上野國馬郡下賛郷高田里  
三家子□為七世父母現在父母  
現在侍家刀自(他田)君目(類)刀自又児(加)  
那刀自孫物部君午足次郎刀自次(君)願  
刀自合六口又知識所結人三家毛人  
次知万呂鍛師職マ君身麻呂合三口  
如是知識結而天地誓願仕奉  
石文  
神龜三年丙寅二月廿九日

金井沢碑



金井沢碑

金井沢碑は、奈良時代前半の神龜三年(七二六)に三家氏(三宅氏とも書く)を名乗る豪族が、先祖の供養と一族の繁栄を祈念して建てた石碑です。三家氏は、ヤマト王権の直轄地である佐野三家を管理し、山上碑を建てた豪族の子孫であると考えられています。

碑文には、三家氏を中心とした九人の名前が記されています。碑を建てたのは三家子□(□は欠字)という人物で、上野國群馬郡下賛郷高田里(現在の高崎市上佐野町・下佐野町周辺とみられる)に住んでいたようです。

さらに、地名の表記などからは、当時の行政制度(国郡郷里制)の整備状況が分かります。ちなみに、碑文に出てくる「群馬」の文字は、県内では最古の事例であり、群馬県の名前のルーツを知る上で非常に重要な資料です。

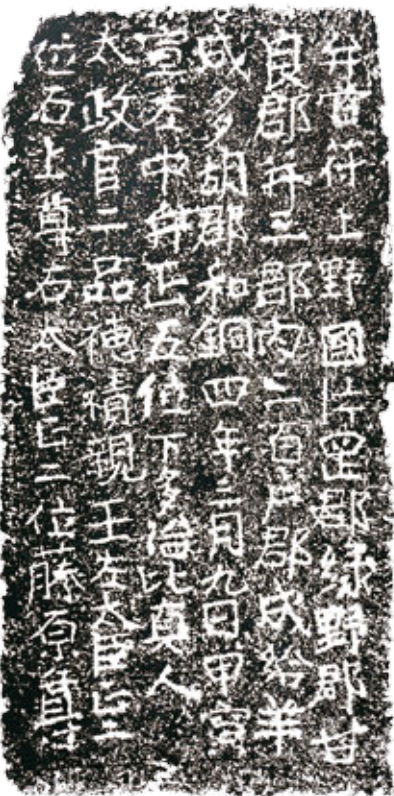
このように、金井沢碑からは、古代東国での仏教の広がり、家族関係、行政制度の実態などを知ることができます。

読み方

上野国「こうづけのくに」  
群馬郡「くるまのこおり」  
下賛郷「しもさぬこう」

＊用語の説明  
・家刀自―家を統括する女性の位 主婦  
・知識―仏教の教え  
・鍛師―製鉄や金属加工に携わる職  
(参考資料 群馬県ホームページ、高崎市ホームページ)

世界記憶遺産候補



多胡碑の碑文

弁官符上野国片岡郡緑野郡甘  
良郡并三郡内三百戸郡成給羊  
成多胡郡和銅四年三月九日甲寅  
宣左中弁正五位下多治比真人  
太政官二品德積親王左大臣正二  
位石上尊石太臣正二位藤原尊

TAGO

多胡碑



多胡碑

多胡碑は、奈良時代初めの和銅四年(七二二)に、上野国の十四番目の郡となる多胡郡が発足したことを記念して建てられた石碑です。多賀城碑(宮城県)、那須国造碑(栃木県)とともに「日本三古碑」の一つです。

建郡に際しては、「羊」という渡来人と推定される人物が中心となって取りまとめ、羊が初代の郡長官になり、碑の建立も羊によるものと考えられています。碑の後段には中央政府要人の氏名が列挙されており、政府によるお墨付きを与えられた建郡であることがうかがえます。

新設された多胡郡は現在の高崎市山名町から吉井町の一带で、この地域は緑野屯倉や佐野屯倉というヤマト政権の直轄地があった場所です。ヤマト政権では当時は先進的な渡来系技術を導入していたため、多胡郡でも窯業、布生産などの手工業が盛んな地帯になっていました。多胡郡の建郡は、当時の政府による生産拠点づくりと、郡の再編成が目的であったと考えられます。

読み方

弁官符「おお」す。上野国の片岡郡「こおり」、緑野「みどの」郡、甘良「から」郡并せて三郡「みつのこおり」の内、三百戸を郡となし、羊に給いて多胡郡「たこのこおり」と成せ。和銅四年三月九日甲寅「きのえとら(こういん)」に宣「の」る。  
左中弁・正五位下多治比真人  
「たじひのみひと」  
太政官・二品德積親王  
「にほんほづみのみこ」  
左大臣・正二位石上尊  
「いそのかみのみこと」  
右大臣・正二位藤原尊  
「ふじわらのみこと」

現代語訳

朝廷の弁官局から命令があった。上野国片岡郡・緑野郡・甘良郡の三郡の中から三百戸を分けて新たに郡をつくり、羊に支配を任せる。郡の名は多胡郡としなさい。和銅四(七二二)年三月九日甲寅。左中弁正五位下多治比真人による宣旨である。太政官の二品德積親王、左大臣正二位石上麻呂尊、右大臣正二位藤原(不比等「ふひと」)尊。



多胡碑が納められた建物



# 大河ドラマで群馬の魅力再発見 貴重な古代遺跡、食にも魅力満載

NHK前橋放送局・局長 若木香織 氏

NHK前橋放送局の若木局長は、平成26年6月に前橋放送局長に就任しました。NHK大河ドラマは平成27年は群馬県令の榎取素彦が登場した「花燃ゆ」、28年は沼田など群馬県が舞台になった「真田丸」と、群馬県に関連したドラマでした。そして今年は「おんな城主 直虎」で、後に初代高崎城主となる井伊直政が登場します。

若木局長に、大河ドラマのこと、群馬県の魅力など、お話を伺いました。

(聞き手 ㈱ヤマト 企画推進部 佐藤 取材日:平成29年1月25日)



## 三作続けて大河ドラマは群馬県ゆかり

—— 今年大河ドラマでは、高崎にゆかりの井伊直政が登場します

若木局長 今年大河ドラマは「おんな城主 直虎」です。舞台は静岡県西部ですが、ヒロインの直虎が育て、後に井伊家の当主になる人物が徳川四天王の一人となる井伊直政です。先日、前橋放送局のニュース情報番組「ほっとぐんま640」で、直政ゆかりの地をたどる企画を放送しました。直政は箕輪城主として群馬に赴き、その後初代高崎城主となりました。そして高崎の町づくりを担い、商工業の町としての基礎を作りました。高崎には今でも鞆町、鍛冶町という地名が残っていますが、これは直政が職人を城下に住ませたときに名付けたといわれています。あまり知られていませんが、群馬県にとって重要な人物です。また、直政の長男の直勝は初代安中藩主、次男の直孝は白井(現在の渋川市)を一時領地にしたことがあったそうです。直虎が心血を注いで育てた直政とその子孫は、群馬県にゆかりの深い一族です。前橋放送局では、こうしたことを放送やイベントなどを通して発信し、地元の方たちとともに地域を盛り上げていきたいと思っています。

—— 大河ドラマでは群馬県に関連した作品が三年間続いています

若木局長「花燃ゆ」では、終盤の十回の放送で群馬が舞台となりました。赤城山の雄大な景色や、焼きまんじゅうなど群馬の名物が頻繁に取り上げられ、群馬を大いにアピールできたのではないかと思います。私が特に印象的だったのは、県令・榎取素彦の「群馬から新しい日本をつくる」というセリフです。今の時代でも、群馬から新しい風を吹かせられたらいいですよ。ね。」「真田丸」では、沼田をはじめ群馬の地名や城が多く登場しました。特に沼田城をめぐる、歴史に名を残す名將たちが争いを繰り広げたのは、痛快でしたね。戦国時代も群馬は要衝の地だったことがよく伝わったと思います。今年も含め、大河ドラマは三作続けて群馬ゆかりとなります。これは大変嬉しいことです。ので、前橋放送局としても、引き続きPRに力を入れていきたいと思っています。

## 貴重な古代遺跡が県内各地に

—— 群馬県で関心のある場所はどこですか？

若木局長 NHKの歴史番組「歴史秘話ヒストリア」の平成二十九年二月三日の放送は群馬県が舞台でした。約千五百年前に噴火した榛名山の麓の遺跡で発掘された、甲を着た古代人がテーマでした。この遺跡は渋川市の金井東裏遺跡で、甲を着た古代人は平成二十四年に発掘され、日本初の発見となりました。番組ではこの古代人がどうして甲を着ていたのか、また、人骨は榛名山



上毛野はにわの里公園(高崎市) 後方は国指定史跡保渡田古墳群



前群馬県令榎取君功徳碑(前橋公園内) 榎取素彦群馬県令の功徳をたたえた石碑。初代前橋市長の下村善太郎が発起人となり、明治25年(1892)に完成、榎取素彦を招き建碑式を行った

に向かつて倒れていたが、なぜ逃げようとせず、火山に向かっていたのかなど、謎を推理する形で描かれました。火山の噴火がもたらす被害は甚大ですが、一方で、噴火による火山灰や軽石の堆積が当時の状況をそのまま残したと聞きます。高崎市の保渡田古墳群で出土した埴輪もその配置が当時の状態のまま残されていて、今はそれが復元されているそうです。群馬県には国内でも珍しい古代の貴重な遺跡がたくさんあります。そうしたことは私も群馬に来て初めて知りました。もともと多くの人に知ってほしいと思います。

—— 群馬県に赴任して古代史に興味を持ったのでしょうか

若木局長「古代史に——」というより、群馬県の持つ様々な「宝物」に興味をひかれます。今年、ユネスコの「世界の記憶」への登録を目指している「上野三碑」もそうです。七世紀から八世紀に建てられたこの三つの石碑は、当時の東アジアの文化交流をしのべる貴重な史跡です。ところで三碑のうちの山上碑は漢文体ではなく、日本語の語順で書かれています。漢字を上から読んでいけばいいので、一番わかりやすい碑文ではないでしょうか。現代でも外国語の習得は難しいですよ。昔の人も同じだったのかなと思います。

先ほど、「東アジアの文化交流」と申し上げ

げましたが、群馬には渡来文化をしのげるものが多いと感じます。例えば「甲を着た古代人」もその骨格から渡来系の人だということがわかっていそうです。また、地名についても、こんな経験をしたことがあります。私が韓国人の友人に「榛名山」について話したとき、その友人は「韓国済州島にある火山・ハルラ山」と同じ名前だと思ったそうです。ハルナとハルラ。確かによく似ていますよね。地名の由来はわかりませんが、かつて多くの渡来系の人々が住んでいたとされる群馬県には、今も共生文化が色濃く残っているように思えます。

## 農畜産物、もっとアピールして

—— 群馬の食べ物はいかがですか

若木局長 群馬は野菜にしても果物にしてもおいしいものがたくさんあります。豚肉や鶏肉など畜産物も品質が高く、おいしいですよ。ね。群馬ブランドの農畜産物が群馬県にとどまらず、全国的にもっと広まってほしいと思います。食べ物だけではなく、尾瀬をはじめとする豊かな自然や様々な泉質を誇る温泉もあります。そうした観光資源や歴史遺産、食べ物の良さが知られば知られるほど、群馬県の実力は高まり、観光客も増えると思います。前橋放送局は「地域の応援団」として、これからもどんどんそうした情報を発信していきたいと思っています。

—— 本日はありがとうございました。



高崎城跡 井伊直政が初代城主になった。



沼田の「上州沼田 真田丸展」でテープカットをする若木局長(右端)





三岳城(国指定史跡)を本城とする井伊氏の平時の城(居館)からの眺め。東麓には宗良親王を祀る二宮神社、足切観音堂がある。



二宮神社  
宗良親王を祀る。親王は延元2年(1337)井伊谷城に入り、各地を転戦して元中2年(1385)井伊谷城で薨去された



足切観音堂  
足に傷を受けた親王が祈念すると傷が癒えたとする伝説がある



井伊谷城跡の案内板

2017年 NHK大河ドラマ

# おんな城主 直虎

## お家断絶の危機を救う

2017年のNHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」は、徳川四天王の一人として徳川家康を支えた井伊直政の養母といわれる井伊直虎が主人公である。戦国時代、井伊家の存続を図るために おんな城主になった直虎の姿をドラマティックに描いている。

## 井伊家の先祖は平安時代の貴族

遠江(とおとうみ)の国(現在の静岡県西部地区・浜名湖の北)にある井伊谷(いいのや)は古代から「井の国」と呼ばれ、水の祭祀を司る領主が治めていた。この領主が徳川家の有力家臣である井伊家の始祖とされている。江戸時代の記録によれば、井伊家の祖は平安時代の貴族・藤原氏北家(ほうけ)の良門(よしかど)で、良門の三男・利世(としよ)から五代目の共保(ともやす)が井伊姓を名乗り、井伊家が興ったといわれている。



許婚との別離を悲嘆し出家したといわれる直虎

「井ノ八郎」という名前があり、それが井伊氏のことであるという。鎌倉時代では、「吾妻鏡」に「井伊介(いいのすけ)」という名前が出ており、「介」は地方の有力な領主に付けられる官名であることから、遠江の有力領主であったことがうかがえる。

## 南北朝の争乱で井伊と今川は対立

元弘三年(一一三三)、後醍醐天皇は天皇の親政を目指し、楠木正成、新田義貞、足利尊氏らの協力で北条氏の鎌倉幕府を攻め滅ぼし、翌年には建武の新政を宣言する。しかし、貴族の権益を手厚く擁護する政治を行ったため、武士階級の不満がくすぶり、三年後の建武三年(一一三六)に不満分子の武士層から支持されていた足利尊氏が離反、後醍醐天皇は京都を逃れ、奈良の吉野に拠点を移した。足利尊氏は天皇に歯向かったことから、朝敵となるのを避けるため、京都で光明天皇を即位させて北朝を樹立した。ここから南北朝時代が始まり、井伊家は南朝に味方した。

後醍醐天皇は十九人の皇子を全国



龍潭寺にある井伊直虎と虎松(後の井伊直政)の像

に派遣し、南朝の勢力拡大を図った。第二皇子の宗良(むねよし)親王は南朝方の莊園「気賀(けが)庄」がある井伊谷に派遣され、井伊家十二代目の道政の支援で遠江一帯での勢力拡大に着手した。しかし、京都で室町幕府を樹立した足利尊氏は、延元二年(一一三三七)に足利一族の今川範国(のりくに)を遠江に送り込んだ。範国は井伊谷に向けて攻め込み、それを阻止しようとする井伊側の軍勢と三方ヶ原で激突した。劣勢の道政軍は井伊谷まで攻め込まれたものの、山城の三岳城に籠城して持ちこたえ、勝敗は定まらないうまま今川軍は撤退した。これ以降、井伊氏と今川氏の確執が始まることとなる。

## 井伊直平は今川義元と和睦

### 直虎の誕生

今川家と対立していた井伊家は、二十代目の直平の代に今川家との対立関係を解消する。天文五年(一五三六)、直平は今川義元と和睦し、娘を人質として差し出し、臣従する道を選んだのだ。戦争状態が収まったこの平穏な時期に、直虎(次郎法師)は生まれている。直虎の父は井伊家二十二代目の直盛で、生まれた場所は井伊谷城のふもとにあった居館というのが定説である。しかし、それ以外は確かな史料は無く、生年を含め推測の域を出ない。

義元は勢力拡大のため、三河の田原城(現在の愛知県田原市)に侵攻を開始した。井伊氏は三河に近いことから、侵攻軍の先頭にたたされたのである。田原城攻撃の最前線で戦った直平の長男で当主の直宗は、戦場に潜んでいた野盗の一団に襲われ、あえなく戦死したという。井伊家当主の戦死は、井伊家の先行きに暗い影が付きまとう悲劇の始まりだった。

### 直虎の許嫁は亀之丞

無念の戦死を遂げた直宗の跡を継いで井伊家二十二代目当主となったのは、直虎の父・直盛だった。直盛の子供は一人娘の直虎だけで男子がいなかったため、直虎に婿をとる必要があった。その候補は直満(直宗の弟)の息子である亀之丞(後の直親)で、直虎とは幼なじみであったこともあり、話は順調に進み、天文十三年(一五四四)、亀之丞が九歳の時に婚約が成立した。

しかし、この婚約に異を唱える家中の重臣がいた。それは家老の小野和泉守政直で、従来から直満と不仲で、息子の直親が将来井伊家を継ぐことを快く思わず、阻止しようと画策したのである。政直は自分の子供を直虎の婿にして、井伊家の実権を握ろうとしたのかもしれない。天文十三年十二月、政直は今川義元に、直満とその弟である直義に謀反の疑いがあると虚偽の報告をし、二人は謀反人として殺害されてしまう。亀之丞にも刺客が差し向けられ、信濃に逃れたのだった。





掛川城

井伊直親が小野政次のざん言により惨殺された。



掛川城の御殿。江戸時代の御殿が現存するのは掛川城と京都二条城・川越城・高知城のみ。(静岡県掛川市)



鳳来山東照宮

三代将軍家光公は改めて東照神君(徳川家康)への思いを新たにされ、その恩返しとして東照宮を新設した。



鳳来寺

山全体が国の指定・名勝天然記念物に指定されている霊山「鳳来寺山」(標高695m)にある鳳来寺。虎松が身を隠したといわれている。(愛知県新城市)



蜂前神社

「井伊直虎関口氏経連誓状」を所蔵する蜂前(はちさき)神社。



方広寺にある井伊直政の母君である永護院殿蘭庭宗徳大姉の像。



方広寺には国重要文化財釈迦三尊像がある。



方広寺

徳川家康とゆかりのある方広寺

## おんな城主直虎の誕生

井伊家では、直親の死によって、成人男子は老齢の直平のみとなり、直平は再度、当主の座についた。しかし、この直平も氏真の謀略で毒殺されてしまう。氏真にとって、井伊家は今川家を脅かす勢力と映っており、当主の命を狙うことに執心していた。直平の死で、井伊家の命運は尽きたかにみえたが、当主不在の状態を解消する奇策を立てたのが南沢和尚だった。永禄八年(一五六五)、出家して尼僧となっていた直虎は、井伊家の城主としての役職である地頭職を継ぐことになる。

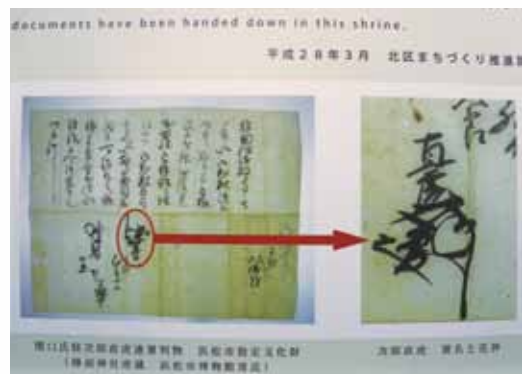
おんな城主となった直虎が直面し

たのは、今川氏から出された徳政令だった。徳政令を受け入れれば、井伊家の財政は破綻してしまう。この徳政令の施行を裏で画策していたのが小野但馬守政次で、井伊家を弱体化させる策略であった。直虎は城主の権限で約二年にわたり徳政令を拒んだが、今川と小野に抗しきれず、永禄十一年(一五六八)に受け入れた。これにより直虎は地頭職をはく奪され、母が暮らす龍潭寺に身を寄せた。直虎に代わり小野が井伊領を支配することとなり、虎松は小野に命を狙われたため、三河の鳳来寺に身を隠したのだ。 (以下、夏号へ)

## 桶狭間の戦い

### 信長の奇襲攻撃で義元が討死

今川義元は足利将軍家に連なる名門であり、東海道随一の大名として君臨し、天下を収めるのにふさわしい人物と目されていた。今川氏は甲斐の竹田、相模の北条と同盟を結んでおり、三河の松平元康(徳川家康)を傘下に収め、永禄三年(一五六〇)には尾張に向けて進軍した。織田方の城を落とした義元軍は、桶狭間で休息をとっている時に、信長の奇襲攻撃に合い、義元は討死し、今川家は大敗を喫する。これにより、戦国大名の勢力図は大きく変化した。



井伊直虎の花押が記された唯一の古文書「井伊直虎関口氏経連誓状」(蜂前神社蔵)

義元の家督を継いだ今川氏真は、元康ら家臣が弔い合戦を勧めるのにも関わらずそれを無視し、酒宴にふけるばかりで、家臣の心は離れ、次第に離反する者が増えていった。元康も大将の器では無い氏真を見限り、永禄四年に信長と同盟を結んだ。

井伊家では、桶狭間の戦いで直盛が戦場で切腹し、多くの重臣が討死した。井伊家にとっても、桶狭間の戦いでの敗戦は大きな痛手を被ることとなった。

### 井伊直政の誕生と直親の謀殺

信濃に逃れていた亀之丞(直親)は弘治元年(一五五五)、井伊谷に帰還したが、すでに出家していた直虎と結ばれることは無く、井伊氏家臣の奥山氏の娘と結婚した。直盛の死から一年後の永禄四年(一五六二)、直親に男子が授かる。この子は虎松と名付けられ、一族の期待を背負うこととなる。この子こそ、後の井伊直政で、直虎が育ての親となる。

今川義元の急死により、徳川家康ら今川家の有力家臣が離反し、駿河・遠江では新たな盟主を探る混沌とした状態になる。そこに目をつけたのが武田信玄と徳川家康だった。井伊家の井伊谷は今川家の支配下で、井伊家老の小野但馬守政次は今川家に忠誠を誓い、井伊家が今川家から離反する動きに目を光らせていた。直親は、井伊家の存続のためには織田や徳川と手を組むことを考えていたかもしれない。小野政次はそのような直親の動向を今川氏真に密告していた。「井伊家伝記」によれば、氏真は小野の報告に驚愕し、すぐさま井伊家征伐の軍を差

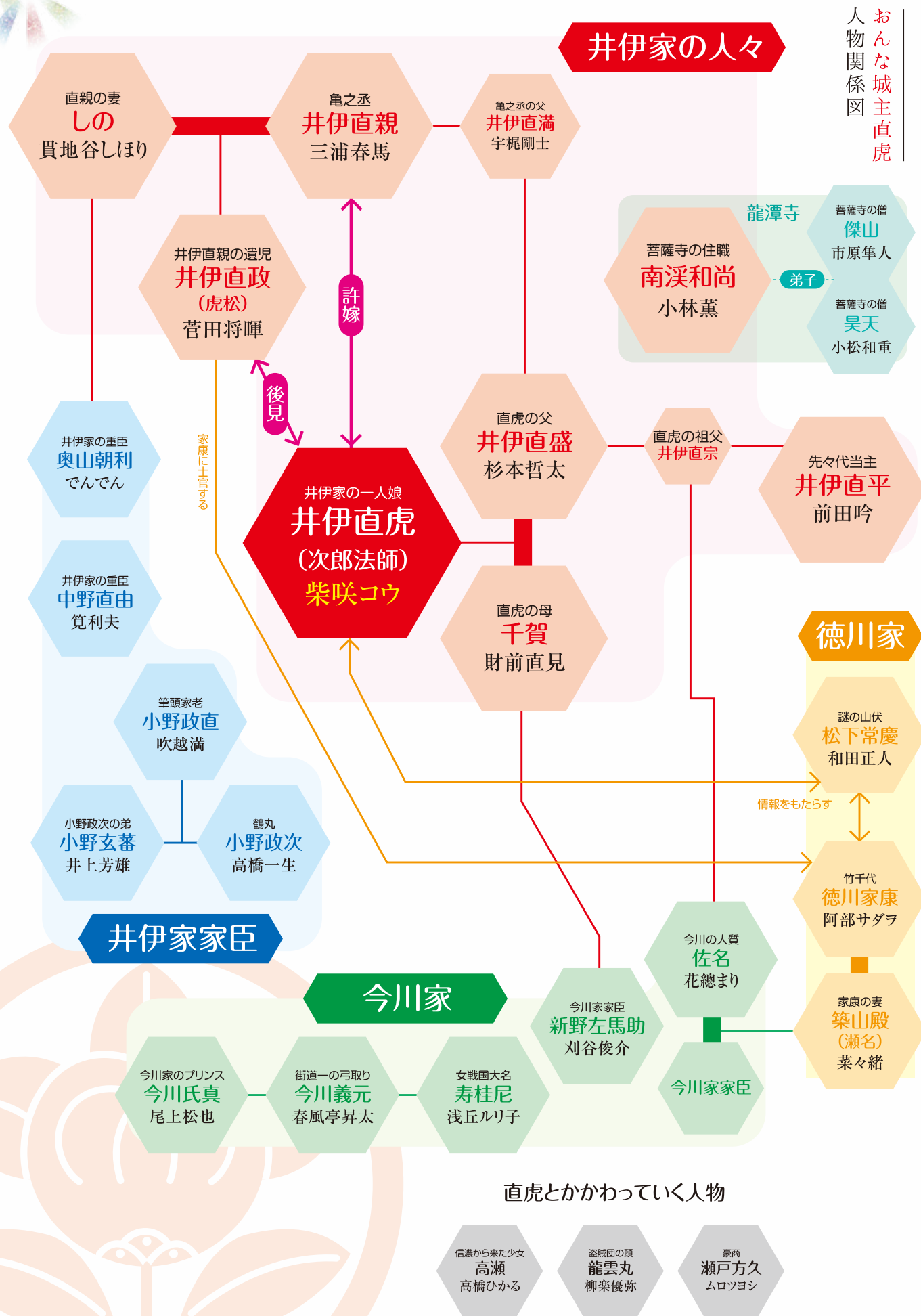
し向けようとした。

この動きを必死に止めたのが新野左馬助だった。新野氏は今川氏の命令で目付家老として井伊家へ派遣され、小野氏と同様の立場だったが、小野氏とは対照的に井伊家と親密だった。左馬助の妹は直盛と結婚し、直虎を生んでいる。左馬助は氏真に、直接直親から逆進の有無を問いただすべきと訴え、征伐軍の出撃は取りやめとなった。

直親は、氏真の居城がある駿府へ行く決心をした。「行けば殺されてしまう」と危惧する家臣もいたが、逆心の疑いを晴らさねばならないと直親の心は固かった。永禄五年(一五六二)十二月、直親一行は駿府に向け出発、途中の掛川城下に差し掛かると、突如として掛川城主の朝比奈泰朝の軍勢に襲撃を受けた。この襲撃は、小野政次の謀略説と、氏真の命令で行われたとする説がある。氏真の井伊家への不信は根強く、井伊家を潰そうと目論んでいたのかもしれない。直親の死により、井伊家の家督を継ぐ男子はいなくなり、存亡の危機にさらされるのであった。



おんな城主直虎  
人物関係図



## 室町時代

|             |                                                                                                 |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 天文13年(1544) | 井伊家当主・直宗の弟、直満と直義が、家老小野和泉守道高のざん言により、駿府で今川義元に誅殺される。<br>直満の子・亀之丞(9歳)も命を狙われ、信州に身を隠す。                |
| 天文18年(1549) | 松平竹千代(徳川家康)、駿府へ人質として入る。                                                                         |
| 弘治元年(1555)  | 信州より亀之丞(20歳)帰国。井伊直盛の養子となり井伊直親と名乗る。                                                              |
| 永禄3年(1560)  | 桶狭間の戦い。井伊直盛、今川義元に従い出陣。桶狭間にて織田信長と戦い義元と共に討死。<br>直親(25歳)が井伊家当主を継ぐ。                                 |
| 永禄4年(1561)  | 虎松(井伊直政)誕生。                                                                                     |
| 永禄5年(1562)  | 井伊直親(27歳)、家老小野政次のざん言により今川氏真の呼び出しを受け、駿府に申し開きに行く道中、<br>今川家臣に攻められ討死。                               |
| 永禄8年(1565)  | 井伊直盛の娘・次郎法師、「直虎」と名乗り地頭職につき、虎松(4歳)の後見人となる。                                                       |
| 永禄11年(1568) | 今川氏真が井伊領に出した徳政令を実行する。これにより直虎の地頭職は廃止され、家老小野但馬守が井伊領を<br>支配。直後に徳川家康が遠江に侵入し、井伊谷城を接收する。虎松は三河鳳来寺に逃れる。 |
| 永禄12年(1569) | 今川氏滅亡。小野但馬守は井伊谷から逃亡するが、捕らえられて処刑される。                                                             |
| 元亀3年(1572)  | 三方ヶ原の戦いで徳川家康が武田信玄に大敗する。                                                                         |
| 元亀4年(1573)  | 足利幕府崩壊。井伊谷は武田軍により焼き払われる。武田信玄病死。                                                                 |

戦国時代

|             |                                                |
|-------------|------------------------------------------------|
| 天正3年(1575)  | 虎松(15歳)、徳川家康に士官を認められ、万千代と名を改める。長篠の戦い。          |
| 天正10年(1582) | 本能寺の変で、織田信長、明智光秀に討たれる。直虎逝去。万千代、元服し井伊直政を名乗る。    |
| 天正12年(1584) | 小牧・長久手の戦い。直政、武功を上げ六万石に加増。諸大名から「井伊の赤鬼」と恐れられる。   |
| 天正18年(1590) | 小田原の陣。直政、上野国(こうずけのくに)12万石を与えられ、箕輪(みのわ)城の城主となる。 |
| 慶長5年(1600)  | 関ヶ原の戦い                                         |
| 慶長7年(1602)  | 直政、関ヶ原の戦いの傷がもとで死没。                             |







居室



トイレ



ダイニング

## マーガレットヒルとは

マーガレットヒルは、閑静な住宅街の小さな丘の上に建っており、晴れた日には、西側1階からでも富士山が眺望でき、屋上からは東京スカイツリーを見る事ができます。建物は、地下1階の地上2階建てで、1階は居住スペースと事務所があり、2階は、居住スペース、地下1階は、特養機能訓練室、デイサービス、地域交流スペース、厨房があります。

### 〈施設理念〉

「安心・安全であり、楽しく生活ができる」を理念に、入所者の意思及び人格を尊重して、常に入所者の立場に立ったサービスを提供します。

・入所者と職員の信頼関係を深めるとともに、家族の協力も得ながら入所者、家族、職員の交流を継続し、入所者の方に生活していただけるようにする。

・地域住民・子供たちと自然と交流が図れるように、また、地元町会の協力を得て、行事やボランティア活動等への参加を支援し、社会的関係を築いていきます。

・笑顔のふれあいと、思いやりのある明るい態度をいつも心掛けます。そしてひとつひとつのサービスを通じて入所者・ご家族・地域住民の方々との間に深い信頼関係を築き上げていきます。

・利用者の立場になったやさしい気配り・心配りをつねに忘れず、お互いの心に通い合うサービスを提供します。また施設での生活が、生き甲斐を伴う有意義なものになるように努力します。

・スタッフの一人一人は、常に前向きな向上心と探究心をもって、能力と技術向上のための自己研鑽に努めます。そしてその成果を福祉サービスに反映させることを何よりの喜びとします。

### 〈基本方針〉

介護保険法及びその関連法令の定めるところにより、入所者がその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるようにすることを目指したサービスを提供するとともに、自らその提供するサービスの質の評価を行なうことにより常にサービスを受ける方の立場に立った施設介護事業を行う。

### 【定員】

- ◎ 特別養護老人ホームマーガレットヒル 定員 74名
- ◎ ショートステイサービスマーガレットヒル 定員 8名

### 【施設の規模】

- 敷地面積 3,080.59 m<sup>2</sup>
- 延床面積 3,887.17 m<sup>2</sup>
- 建物構造 鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階建て

### 【協力病院】 医療法人社団 誠高会 おおたかの森病院

### 【沿革】

- 平成 14年 4月 1日 特別養護老人ホームマーガレットヒル 設立 [定員50名]  
ショートステイサービスマーガレットヒル 開設 [定員8名]  
デイサービスセンターマーガレットヒル 開設 [定員15名]  
居宅介護支援事業所マーガレットヒル 事業開始  
在宅介護支援センターマーガレットヒル 開設
- 平成 15年 1月 1日 デイサービスセンターマーガレットヒル 定数変更 [33名]
- 平成 18年 4月 1日 デイサービスセンターマーガレットヒル 介護予防事業 開始
- 平成 28年12月 特別養護老人ホームマーガレットヒル 増床 [定員変更74名]



### お客様の声



社会福祉法人三誠会 特別養護老人ホーム  
マーガレットヒル  
施設長 竹田 仁 様

特別養護老人ホームマーガレットヒル改修工事が竣工しました。本工事は、ベッド数を50床から74床に増やす工事でした。施工では、施主のマーガレットヒル様の多大なご協力をいただき、感謝いたします。

平成14年にオープンして以来、年数が経過し、増床計画を立てましたが、2階の上に3階部分を増築する予定でしたが、法改正の影響で、3階部分の増築は耐震性能を満たすために構造から見直さなければならず、断念しました。既存のスペースを活用しての増築計画

に変更し、使用頻度が少ない交流スペースを改修することになりました。設計段階では、交流スペースを居室にする工事は無理があるのではないかと感じました。洗濯室のスペースが従来の半分になるなど、細かい点は気になっていました。改修部分の交流スペースは、フローリングの床で解放感があったので、今回の改修工事でこの部分が地下にいくので、解放感の面で不安がありました。床材など細部にわたって相談に乗っていただき、想像以上に明るい雰囲気になり、素晴らしいものができたと思います。実際に壁の仕切りをつける段階でも綿密に打ち合わせをし、想像通りの仕上がりになりました。



入所者様からのお礼の手紙

### 工事概要

- 工事名称 特別養護老人ホームマーガレットヒル改修工事
- 所在地 千葉県柏市中新宿1-8-6
- 工期 平成28年4月1日～ 9月29日
- 設計監理 (株)NICE PARTNERS
- 工事概要 建築・電気・機械設備工事一式
- 施工 株式会社ヤマト